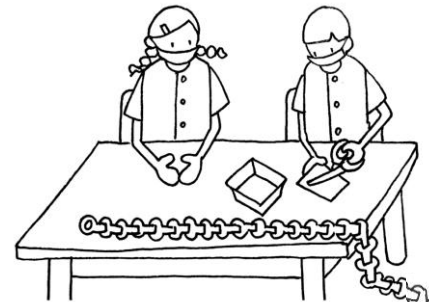


だ み く り に

No.717 令和3年9月1日発行



夏に思いを寄せて 園長 和田美佳

この度は、当園の関係者において、新型コロナウイルス感染症の感染が確認され、休園となり、皆さまにご理解ご協力いただきましたこと、感謝申し上げます。今後は、よりいっそう園内の感染予防に努めてまいります。

そう強くお伝えするには理由があります。

今回、園内の状況に向き合う中で、新型コロナウイルス感染症の怖さ、辛さに直面しました。感染した人から直接、熱、咳、息苦しさといった症状を聞くと、メディアや画面上で知る情報より他人事とは思えませんでした。また、テレビで保健所や医療体制が逼迫している様子をご覧になったことはありますか。休園期間中、保健所と何度も電話でやりとりをしましたが、遅い日は夜9時。保健所の方の苦労を声色から感じることもありました。感染した人、そして、その方々を助けようとする人……皆が辛い状況にありました。

そして、人はひとりではありません。それぞれに大切なご家族がいらっしゃいます。わたしからすると、お子さま、その保護者の方、そしてさらにそのご家族、職員、職員のご家族、そして自分の家族……みんながみんな誰かと繋がっていて、わたしはそれを担っているのだと重みを感じました。新型コロナウイルスの怖さ、辛さ、そして人の繋がりを実感したからこそ、感染を防ぎたいのです。

そして、感染対策は「一を聞いて十を知る」です。残念ながら集団生活の場では、リスクをゼロにすることはできません。だからこそ、聞いた対策をするだけでなく、自分で想像し考えて、感染を防ぐ行動をとる、それが必要になります。

対策は、わたしひとりでは意味がありません。職員、保護者の方々、みんなで一丸となって感染対策にのぞみましょう。

そう強く願います。

さて、8月、お子さまの様子はいかがでしたか。

学校関係が夏休みに入ると、毎年幼子の悲しいニュースを見聞します。心が痛みます。それを見る度に、みくにのみんなはどうか、全員が無事に元気に登園してほしいと願うばかりでした。そして、園生活中の子どもたちの安全確保はわたしたちの役目です。「人の振り見て我が振り直せ」「明日は我が身」……職員一同、お子さまと保護者の方の安全面にもいっそう気を配って過ごしてまいります。

みなさん、オリンピックとパラリンピックはご覧になりましたか。わたしはスポーツ好きの家族の影響で、リモコンを片手に持つ家族を隣に、色々な競技を見ました。ところが、わたしが観るポイントは少し違っていたようです。わたしが好きなのは、試合が終わった後の選手たちの様子です。負けた選手が悔しがる姿には、それまでの見えない努力を感じます。また一方で、勝ち負け関係なく称えあう様子にも惹かれます。そんな場面を見ると、未来を担う子どもたちには、人と人が互いに心地よくいられるそんな世の中を生きてほしい、そして築いていってほしいと願わずにいられなくなります。同じような視点でご覧になった方はいらっしゃいますか。みなさんはどういった視点でご覧になったのでしょうか。

なんだか、今月号は決意表明が多くなり、オリンピック開会式の選手宣誓のようになってしまいましたね。有言実行。2学期もどうぞよろしく願いいたします。

そして、柏市からの登園自粛要請に基づき、ご協力くださっている方に御礼申し上げます。